

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい			12か月
		事業所の立地条件が住宅地にはないため周辺の住民の方が気軽に立ち寄れるような環境にはない。また、お花見や夏祭りなどの交流はあるが密になり地域として機能している状態ではないため地域密着型のサービス事業所としての役割が不十分である。	地域住民の方々との交流を頻繁に持ち地域の方が事業所を訪れてくれたり、事業所の職員や入居者さんが地域のイベントに参加できるようになったり地域としての繋がりを深め地域で安心・安全が確保できるようになる。	これから企画をして住民の方に来ていただけるような催しを開く。事業所がどのようなところなのかを見て頂き住民の方のお話も頂戴して相互に交流を図る。以前よりある催しに関しても引き続き開催していく。	
2	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映面会時に積極的に話しかけているが、短い時間では伝えられないことも多く、家族様の真意を聞いているかは難しい。また、面会に来られる方は限られているので、家族様のご要望も十分に聞けていない状態である。	家族様と入居者様が一緒に過ごして頂く時間を長くたくさんもてるように、行事や普段の様子を見て頂く機会を作り発信していく。	お食事会を開催し、家族様同士が話せる機会を作り、交流を図る。 回数を増やし、気軽に何でも話して頂ける関係を作る。 入居者様の思い出の場所に行ったり、お買い物へ行ったり、家族様と共にお出かけする時間を作	12か月
3					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。